

協同組合関東給食会 理事長 平井昌一



明けましておめでとうございます。2025年の年頭に  
当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私ども関東給食会は「つなぐ関給」をスローガン、  
「未来を担う子どもたちのために」をコンセプトに、  
組合員23社で事業を推進し、関東地区の学校給食を中心に「安全・安心・高品質」な商  
品を安定供給することをミッションとして活動しております。

昨年2023年度につきましては、政府の地方創生臨時交付金が以前ほど給食費に活  
用されていないこと。また、燃料費や食材費等の高騰により、従来使用されていた商品  
の数量や単価に購入抑制があったことなどの影響を受け、共同購買事業は58億1000  
万円(前期比1・5%増)となりました。

そのような環境の中、今期第59期は共同購買事業59億円を目標に、8つの委員会・部  
会での活動を活発に行い、「関給ビジョン2030」の浸透とその実現に向けて事業を推進  
しております。

具体的な活動として、『ビジョン2030推進部会』では組合全体の各部会活動と連動し  
て提言を行い、2024年度はカンボジアで栄養食育活動を行う現地法人「ノムポポー」と  
共に、お菓子を通した栄養食育授業の支援・参画を実施致しました。

また『食育推進研究事業部会』では、「カンキュー食育出前授業プログラム」のブラッシ  
ュアップを行い、各地域での出前授業の開催を進め、群馬県では食品ロス削減に向け  
たSDGs 給食提案の実施など、食育活動への支援を推進して参りました。さらに『農産物  
部会』では、通常活動の差別化商材取扱い推進とともに、愛媛県愛南町と連携した「ぎょ  
しよく(魚食)出前授業」を実施し、組合全体で食育活動への貢献体制の充実を図りまし  
た。

関給は2026年に設立60周年の節目を迎えます。記念事業の開催に加えて、関給の次世代経営者がこれからの時代をつくる大切な礎として、組合や関係団体、業務用給食卸等業界の歴史と変遷を纏め、関係者で共有出来るよう記念誌を取りまとめていきたいと考えております。今まで、組合そして業界を作ってこられた先達のお言葉を頂きながら、歴史をつないでまいります。

一方、ただちに取組まなければならない課題も山積しており、光熱費の高騰や食品値上げ等の影響を受けた給食献立に対して、美味しさと栄養バランスを考え子どもたちの健康と成長を支える内容を維持することや、学校給食へ「安全・安心・高品質」な商品を安定して供給出来るサプライチェーンを確保するため、契約内容や納品条件を見直すことなどがございます。これらの課題に対しては全給協を中心とした「学校給食関連三団体評議会」の活動と歩調を合わせ取組して参ります。

関給は“つなぐ関給”の精神のもと、

- ①食育活動の推進と社会貢献活動への取組強化による関給ブランドの価値向上
- ②共同購買事業における新規取組強化と時流にあった商品開発
- ③組合員への教育情報事業の拡充と情報プラットフォーム機能強化
- ④業界団体、行政機関との連携事業推進

以上の4つの基本方針の下、部会活動を中心に本年も積極的な活動を行ってまいります。2025年も引き続き、ご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、関係各位の益々のご繁栄とご健勝を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。